

心・安全のまちづくり

平成24年12月に新たな内閣が発足しました。強い経済の再生、いわゆるデフレ脱却に向け、景気回復に全力を挙げる考えが示されています。その第一歩として、公共事業を柱とした「復興・防災対策」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の3分野を重点とする10兆円規模の大型補正予算が編成されました。

国土の強靱化施策に期



八幡市長
堀口文昭

2月27日に開会しました平成25年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「平成25年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介します。また、施政方針の全文は市ホームページ (<http://www.city.yawata.kyoto.jp>) に掲載しています。

だれもが明るく元気に暮らせるまちづくり

少子高齢化が進むなか、子どもから高齢者まで市民の皆様のだれもが安心して元気で暮らせるまちづくりに向け、保健・医療では、市民の皆様の健康づくりを支援する取組を進めてまいります。

- 国民健康保険料激変緩和措置（臨時特例繰出金） 1億円
- 脳ドック費用助成（新規） 540万円
- 児童発達支援事業（「親子の育ち合い広場わくわく」）（拡充） 2,900万円
- 障がい者日常生活用具給付対象用具拡充（新規） 2,133万円

■日中一時支援事業（入浴、送迎加算の新設）（拡充）

2,700万円

■がん検診無料化の実施（新規）

■シルバーライフラインお元気コールサービス実施（新規）

69万円



大切に、みんなが力を合わせて暮らせるまちづくりを進めるまちづくり

行や地域社会意識のユニティ活動を取り状況にあります。市民自治の基礎で人ひとりが、人権を、理解し合うこと絆、助け合いのできの充実が必要と考民の皆様、NPO、動によるまちづくり



事業助成（拡充）
センター運営（継続）

200万円
400万円

安心して暮らせる安全で快適なまちづくり

地震、台風、集中豪雨や竜巻などの多様な自然災害が発生しています。市内におきましては、平成24年8月の京都府南部豪雨による住宅の浸水被害や男山の山腹崩壊などの被害が発生し、大きな爪痕を残しました。災害から市民の皆様の生命と財産を守り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めてまいります。

- 災害時対応車導入（新規） 280万円
- 防犯カメラ設置事業（拡充） 646万円
- 公立保育所緊急連絡網メール配信開始（新規） 21万円
- 公立保育所（みその、わかたけ保育園）耐震補強等実施設計（新規） 750万円
- 急傾斜地対策事業（新規） 1,000万円
- 男山地域再生事業（継続） 1,160万円
- 市営住宅建替事業（更新） 1億880万円

- 災害対応救急自動車、消防ポンプ自動車更新（更新） 7,700万円
- 防災対策機器・防災備蓄品の充実（拡充） 1,070万円
- 災害時要援護者支援対策の充実（拡充） 560万円
- 小学校通報設備整備事業（新規） 1,400万円
- 幼稚園オートロック設備整備事業（拡充） 600万円

- 公民館施設大規模改修事業（更新） 1億3,400万円
- 八幡市民図書館耐震診断及び大規模改修実施設計（新規） 1,031万円



くり

設計委託
179万円
設計・設備
1,490万円



市民と協働で進める安心

人がつどい、活力あふれるまちづくり

元気で、活力あふれるまちであり続けるためには、農業や商工業の振興、人のにぎわいの創出が欠かせません。近年の高速道路網の整備という地の利を活かし、多くの人、企業が集まる活力あるまちづくりを進めてまいります。

■駅前空き店舗活用支援事業助成(新規)	100万円
■観光ガイドマップ、淀川三川背割堤パンフレットなど増刷(拡充)	650万円
■観光協会活動助成(拡充)	240万円
■市道・下排水路等維持補修事業(拡充)	1億5,696万円
■橋本駅周辺拠点整備事業(継続)	2億2,450万円



重点とする10兆円規模の大型補正予算が編成されました。
国土の強靱化施策に期待をしながら、本市におきましても市民協働を基本とし、安心・安全のまちづくりを進めていかなければならないと意を新たにいたしました。ご意見を伺います。

す。一方で、市税収入は横ばいの傾向が見込まれ、決して安心できる状況ではありません。
こうした状況の下、本市も有利な財源となり得る国の大型補正予算を活用し、平成25年度当初予算と連動させた「13カ月予算」を編成し、重点施策であります防災・減災に関する取組や次世代の育成に関する取組を進めてまいります。

豊かな自然を守り、循環型の社会づくりを進めるまちづくり

京都府内で初めて環境自治体宣言を行いました。今後も循環型の社会を目指し、環境基本計画に基づき取り組んでまいります。

■電気自動車導入(拡充)	270万円
■電気自動車充電用設備整備(新規)	500万円
■京都府内産木材利用促進事業助成(新規)	150万円
■雨水貯留施設設置助成(新規)	160万円



人権を大切にまちづくりを

少子高齢化の進行や地域社会希薄化など、コミュニティ活動の環境は厳しい状況にあります。地域コミュニティは市民自治の基。市民の皆様一人ひとりが、尊重し、互いを認め、理解し合を基本に、人との絆、助け合の地域コミュニティの充実が必えております。市民の皆様、N事業者、行政の協働によるまちを進めてまいります。

- 自治連合会活動事業助成(拡充)
- 市民協働活動センター運営(新)



計画の実現に向けた取組や体制の強化

この5年間で総職員数の約3分の1に当たる職員が退職しております。急激に増加した経験年数が浅い職員に対して、迅速かつ的確な業務遂行能力を付与していくため、各部署での所管事務事業の把握と業務マニュアルの作成を徹底し、業務遂行レベルを維持して

まいります。また、国や京都府、関係団体との人事交流を継続するとともに、各種研修の充実に努めてまいります。

- 官民共同事業の実施(新規)
 - ・市民課窓口番号案内表示機設置
 - ・行政ガイド「やわた事典」改訂版発行

次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまちづくり

次代を担う子どもたちの健やかな成長は、家庭はもちろんのこと地域全体の願いです。様々な人に見守られ、子どもたちが健やかに成長していく環境整備を進めてまいります。

また、市民の皆様が文化、芸術、スポーツなどの活動を通じた交流を活性化し、心豊かに暮らせるとともに、八幡市を誇りに思えるような歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを進めてまいります。

■病児保育整備促進事業(新規)	1,400万円
■八幡市こども園(認定こども園)開設(新規)	160万円
■第三子育て支援センター整備(新規)	1,000万円

■中学校英語教育推進(新規)	840万円
■特別支援教育支援事業(特別支援教育支援員の配置充実)(拡充)	1,795万円

■八角堂保存修理基本設計委託(新規)	179万円
■文化センター空調等施設・設備改修(更新)	3億2,490万円

■学力向上推進事業(英語検定受験料中学2年生まで拡充)(拡充)	3,820万円
■中学校給食検討委員会設置(新規)	100万円
■「夢の教室」実施事業(新規)	220万円
■小学校普通教室空調設備整備事業(新規)	1,500万円
■幼稚園空調設備整備事業(新規)	350万円

